

令和 3 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会

目次

前文	1
I. 法人運営部門	
1. 法人運営事業	2
(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・部会・評議員選任 ・解任委員会	2
(2) 研修	4
(3) 社協会員制度	4
2. 企画広報事業	4
(1) 企画	4
(2) 広報	5
II. 地域福祉活動推進部門	
1. 地域福祉推進事業	6
(1) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画の推進	6
(2) 地域安心生活サポート事業	6
(3) 生活支援・介護予防サービス体制整備事業	6
(4) 障がい福祉事業	8
(5) 児童福祉・子育て支援事業	8
(6) 介護予防普及啓発・地域活動支援事業	10
2. ボランティアセンター事業	10
(1) ボランティア活動事業	10
(2) 災害対応事業	11
(3) 福祉教育推進事業	11
3. 助成事業	13
(1) 各種福祉関係団体活動支援	13
(2) ボランティア団体活動支援	13
(3) 子ども食堂応援事業協力金の支給	13
III. 自立支援事業部門	
1. 日常生活自立支援事業	14
(1) 相談対応・実績	14
(2) その他	14
2. 成年後見事業	15
(1) 法人後見事業	15
(2) その他	15
3. 生活困窮者自立相談支援事業	16
(1) 相談対応・実績	16
(2) 支援結果等	16
4. 家計改善支援事業	16
(1) 相談対応・実績	16
(2) 対応状況	16
5. フードドライブ事業	17
(1) 食料支援	17
(2) 子ども応援大作戦	17
6. 生活支援事業	17
(1) 資金貸付事業	17
(2) 生活援護事業	18
7. 在宅支援事業	18
(1) フレンドリーヘルパー派遣事業	18
(2) あゆむサービス事業	19
(3) 家族介護者支援事業	19

(4)	お元気確認サービス事業	20
(5)	ひとり暮らし高齢者訪問指導事業	20
8.	介護人材育成事業	20
(1)	介護に関する入門的研修	20
(2)	介護職員初任者研修	20
9.	さくら貝サービス事業所	21
(1)	居宅介護支援事業	21
(2)	居宅訪問介護サービス事業	21
(3)	障害者総合支援事業	21
10.	地域包括支援センター	22
(1)	総合相談・支援業務	22
(2)	権利擁護業務	22
(3)	包括的・継続的ケアマネジメント業務	23
(4)	予防給付・介護予防ケアマネジメント業務	23
(5)	認知症に関する取り組み	23
(6)	介護予防実態把握事業	24
(7)	地域ケア会議推進事業	24
(8)	生活支援・介護予防サービス体制整備事業	24
(9)	重層的体制整備事業	24
(10)	その他	25

IV. その他

1.	逗子市福祉会館管理運営事業	26
2.	基金等運営事業	26
(1)	あゆむ銀行の運営	26
(2)	福祉基金の運営	27
3.	車いす・イベント機器の貸出	27
4.	社会福祉実習生の受け入れ	27
5.	駐車場管理運営事業	27
6.	その他	28
(1)	神奈川県共同募金会逗子市支会事務局	28

令和3年度逗子市社会福祉協議会事業報告

社会福祉法や介護保険法の改正など、社会福祉法人が地域に求められる役割が大きく変化しているなかで、令和3年度の逗子市社会福祉協議会においては、関係機関・市民等と連携し、様々な地域福祉の推進を図ることができました。

令和3年度の重点事業の実施結果は以下の通りです。

1. 総合相談支援体制の強化

様々な相談に対応できるよう、担当係の枠を超えた連携により多くのケースに対応し課題解決に努めました。地域包括支援センターに包括化推進員が配置されるなど、相談支援体制のより一層の強化に取り組みました。

2. 困りごとを抱える人が「つながる」地域づくり

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の中で生活課題を抱える人が急増しており、相談支援やフードドライブ事業などニーズに応じた支援を継続して行いました。

また、サロン等の地域活動が再開される中で、感染症対策を講じながら、各地域における地域活動の支援を実施しました。

3. 福祉の人材育成活動

感染症対策を講じつつ、地域の福祉人材育成に関する取り組みを行いました。介護人材の育成では、研修を予定通り実施することができ、地域で活躍する人材を育成しました。

4. 法人運営体制の強化

職員に対する人事評価制度の運用を開始し、業務目標の設定や業務遂行状況の共有化を図りました。また、育児・介護休業等の法令等の改正に伴い、規程の制定、変更等を随時実施しました。

以上の内容を中心に事業運営を進めました。各事業における実施内容は、以下のとおりです。

I. 法人運営部門

1. 法人運営事業

(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・部会・評議員選任・解任委員会

本会の運営・経営管理上の重要事項や基本方針・適切な事業執行等の決定を行うため、評議員会・理事会等を次のとおり開催した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部書面審議とした。

① 評議員会

・第1回 令和3年6月15日

- 議案第1号 令和2年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告について
- 議案第2号 令和2年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告について
- 議案第3号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会理事の選任について
- 議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会監事の選任について
- 議案第5号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号について

・第2回 令和4年3月25日

- 議案第6号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第2号について
- 議案第7号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について
- 議案第8号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算について

② 理事会

・第1回 令和3年5月24日

- 議案第1号 令和2年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告について
- 議案第2号 令和2年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告について
- 議案第3号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号
- 議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員会の開催
- 議案第5号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会理事候補者の推薦
- 議案第6号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会監事候補者の推薦
- 議案第7号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦
- 議案第8号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任
- 議案第9号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催
- 議案第10号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正について
- 議案第11号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定訪問介護事業運営規程の一部改正について
- 議案第12号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定介護予防・生活支援サービス事業第1号訪問事業運営規程の一部改正について
- 議案第13号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所指定障害福祉サービス事業所運営規程の一部改正について
- 議案第14号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所移動支援事業運営規程の一部改正について

・第2回 令和3年6月15日

- 議案第15号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会会長の選任について
- 議案第16号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会副会長の選任について
- 議案第17号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会常務理事の選任について
- 議案第18号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会顧問の選任について

・第3回 令和3年11月12日

議決事項なし

・第4回 令和4年1月25日（議決があったものとみなされた日）

議決があったものとみなされた事項

- 議案第19号 評議員会の開催について
- 議案第20号 第三者委員の選任について

※第4回理事会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず書面同意とした。

・第5回 令和4年3月22日

- 議案第21号 令和3年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第2号について
- 議案第22号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について
- 議案第23号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算について
- 議案第24号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会経理規程の改正について
- 議案第25号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の制定について
- 議案第26号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会ハラスメントの防止及び対応に関する規程の制定について
- 議案第27号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会職員衛生管理規程の制定について
- 議案第28号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会衛生委員会規程の制定について
- 議案第29号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員就業規程の改正について
- 議案第30号 評議員会の開催について

③ 監事会

本会事業の遂行状況、財務の執行・管理状況について、監事による監査を実施した。

- ・金庫監査 令和3年4月1日
- ・本監査 令和3年5月12日
- ・前期監査 令和3年11月26日

④ 苦情解決第三者委員会

令和3年度苦情件数は0件であった。サービス利用者の権利保護を十分に行えるよう包括的な苦情解決の仕組み「第三者委員会」を組織した。

⑤ 部会

担当理事制を設け、理事と事務局が一体となり課題の共有化を図るとともに解決するための検討協議する場として部会を設置した。

ア 法人運営部会

組織的な課題に関する各種検討を行った。

- ・合計2回開催

イ 地域福祉活動計画部会

- ・開催せず

⑥ 評議員選任・解任委員会

評議員の選任にともない委員会を開催した。

- ・第1回 令和3年5月27日

(2) 研修

① 役員等研修

役員等研修として、理事・評議員合同研修会を実施した。

- ・令和3年11月12日開催

② 職員研修

県社会福祉協議会等で開催された様々な研修及び各事業に関連する研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。

(3) 社協会員制度

① 会員制度の推進

自主財源の確保や本会活動への参加促進を目的に、市民、団体、企業等の協力により、会員募集活動を実施した。募集は、自治会・町内会、民生委員児童委員等の協力を得ながら行った。

会員・会費実績

	会員数	金額
個人会員	2,595名 (2,559名)	1,583,010円 (1,640,545円)
団体会員	74団体 (71団体)	445,000円 (480,000円)
団体賛助会員	42団体 (49団体)	230,000円 (275,000円)
合計		2,258,010円 (2,395,545円)

※ () 内は、令和2年度実績

2. 企画広報事業

(1) 企画

① 第五次強化計画の進行管理

人事評価制度について具体的に運用を開始した。

② 福祉功労者の顕彰

社会福祉功労者（民生委員児童委員、ボランティア団体等）や福祉施設等従事者などの顕彰を行い、その功績を讃えた。（神奈川県共同募金会逗子市支会と共催）

- ・被表彰者 社協関係 17名 6団体
共募関係 4名 1団体

③ 業務のスリム化

リース契約の見直しやOA機器、会計ソフトの入れ替えなどを通じて費用面、労務面のコスト削減を図った。

(2) 広報

① ガイドブックの作成

本会及び活動内容を周知するためにガイドブックを作成し配布した。

② 広報紙の発行

広報紙「さくら貝」を隔月発行し（1回あたりの発行部数約 3,500 部）、自治会・福祉団体・サロン・施設等へ配布した。また、録音ボランティアグループ「やまぼとの会」の協力により、視覚障がい者用CD版を毎月発行した。また、音声版は本会ホームページに掲載した。

③ ホームページの運営

事業の周知、連絡用ツールとして、ホームページを一部改訂し運用した。

Ⅱ. 地域福祉活動推進部門

1. 地域福祉推進事業

(1) 逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画の推進

第三次逗子市地域福祉活動計画にあたる計画を逗子市地域福祉計画と一体化した計画（逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画）として策定し、その8年計画施行7年目として逗子市と連携し、地域支援活動を推進した。

- ・逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画懇話会（書面会議）

計画の所管評価に対する意見徴収及び進捗状況の確認の場として開催した。

第1回 令和3年6月4日 第2回 令和3年8月24日（書面会議）

第3回 令和4年3月8日（書面会議）

- ・逗子市の地域福祉に関する市民意識調査の実施

調査対象者 2,000人 調査票発送 10月28日

- ・次期「逗子市福祉プラン、(仮称)逗子市地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定に伴う団体ヒアリング調査の実施

実施日 令和4年1月21日、26日、27日 団体数 21団体

(2) 地域安心生活サポート事業

小学校区を地域別活動圏域に設定し、地域の中で支援が必要な人をお互いさまサポーター（地域住民）が見守る体制づくりを推進した。

- ・サポーター数 494名

- ・利用登録者数 192名

- ・サポーターチーム 25チーム

- ・サロン活動 20チーム（地域安心生活サポート事業及びその関連より派生したサロンが継続運営されている）

- ・新たな取り組みとして、「通いの場すみれ」（久木9丁目）の立ち上げ支援を行った。

- ・「お互いさま活動」におけるこれまでの状況、コロナ禍の活動に対するアンケート結果をもとに、情報共有と今後の取り組み検討のための冊子を作成した。

- ・多世代の顔の見える関係作りや現サポーター（高齢世代）と次期担い手（子育て世代）との交流、また、両者が連携した地域活動を促進することを目的として、小地域における多世代交流イベントを開催した。（対象地区2地区、開催数3回）

(3) 生活支援・介護予防サービス体制整備事業（逗子市からの受託事業）

第1層生活支援コーディネーターとして、社会資源の把握・資源開発・ネットワーク構築・ニーズ対応活動を通じて、多様な地域資源を活用しながら、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を実施した。また、第2層生活支援コーディネーターとの協議、逗子市社会福祉課との打合せ、各小学校区住民自治協議会への出席、地域包括ケア会議への参加等を行った。

① 社会資源の把握

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることを目的として、日々の生活で活用できる便利なサービス情報を集約し、「かながわ福祉サービス振興会」と連携の基、かながわ福祉サービス振興会のホームページ「地域包括ケアシステム」で掲載した。

- ・掲載数：20 業種（更新作業は随時実施）

② 担い手育成

住み慣れた地域で暮らし続けるための仕組みづくり、また地域活動者の育成を目的として各種講座の開催を検討した。

ア 高齢者生活支援担い手養成研修

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 送迎サービス担い手養成研修

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 担い手の増員

- ・今年度開催の研修会（「介護に関する入門的研修」）と連携し、研修修了者を「高齢者生活支援担い手養成研修」の修了者として認定した。 修了認定者 14 名

③ 地域における通いの場の推進

住民同士の交流や健康維持、地域活性化を目的としたサロン活動（参加者を固定せず誰もが集える場の提供）を住民主体で展開している団体に対し、新規立上げや継続支援を実施した。

ア コロナ禍の支援

- ・冊子「コロナ禍のサロン活動～つながる方法～」作成

コロナ禍におけるサロン活動のアンケート結果をもとに、各団体の取り組み内容の共有、今後の活動検討のための冊子を作成し、対象団体に配布した。

- ・各団体の状況確認及び情報提供

コロナ禍におけるサロン状況の聞き取り調査を実施。対象 49 団体。また、自粛中の団体へのアプローチとして公園（広場）での体操（ポールウォーキング）等の活動支援・推進を行った。

- ・活動再開支援

コロナ禍により住民主体の開催に至らないサロン団体に対して、活動支援を行った。対象 5 団体。

- ・オンライン活用の支援

イ 新規立上げ支援

- ・「通いの場すみれ（久木 9 丁目）」 令和 3 年 7 月 5 日より開催。

ウ 住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業の実施（県モデル事業への協力）

- ・元気高齢者が集う場として介護予防の視点や専門職との連携を推進し、効果的な活動の支援を行った。実施 3 地区。

④ 地域における支え合いの仕組みの推進

第 2 層生活支援コーディネーター（東部・中部・西部地域包括支援センター）と連携して、地域住民に対し、地域における支え合いの意識醸成及び普及啓発を行い、目指す地域の共有化を図った。また、社会状況の変化による各世帯の課題や困りごとに対するアプローチ並びに地域支援の仕組みを検討した。

ア 地域活動団体（サポーターや通いの場の主催団体等）が開催する集会等に参加。

イ 集会での検討事項や、聞き取り調査等から表出した個別課題や地域課題について、サポーター等と共有し、関係機関との連携を図った。

ウ 送迎支援ボランティアの仕組み検討

- ・関係機関、団体及び、対象サロンへのヒアリング調査を実施した。
- エ フードドライブ事業の一環として、コロナ禍の状況及び本会の対応をサポートやサロン集会の場で情報提供した。地域の運動企画と連動、またサロン団体と連携して、食料支援の受け取り窓口を開設した。全4回実施。
- オ ひきこもりに関する支援
 - ・当事者・家族・支援者・専門機関等との情報共有・意見交換を実施した。

⑤ 総合事業の多様なサービスの検討会の開催

- 介護予防・日常生活支援総合事業において、多様なサービスに係る住民主体による支援（訪問型サービスB）の設置、運営のため関係機関及び団体による会合を開催した。
- ・開催数1回（感染拡大の影響により、開催中止の期間あり）。
 - ・各事業所の状況に応じて、個別の調整や聞き取り等を実施し、進捗管理を行った。

（4）障がい福祉事業

① 手話奉仕員養成講習会の開催

聴覚障がい者福祉への理解を広げることを目的として、初めて手話を学ぶ方を対象に入門課程講習会を葉山町社会福祉協議会と合同で開催した。

<概要及び参加者>

日程：令和3年4月8日～令和3年9月2日（全20回）

会場：葉山町役場

受講者：12名（令和2年度7名）

<講師>逗葉手話講習会講師団

（5）児童福祉・子育て支援事業

① 体験学習施設親子スペース等に係る事業（逗子市からの受託事業）

市が開設している体験学習施設の一部運営を行った。

ア 親子遊びの場運営事業

・プレイルーム小の運営

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てコンシェルジュ、赤ちゃんタイム、子育てコーチングのみの限定的な利用とした。

・プレイルーム大の運営

未就学児の親子連れが自由に訪れ、遊べる場「ほっとスペース」を開催し、市民交流や市民協働型の事業を展開した。新型コロナウイルス感染症の影響により、予約制で行った。

来場者数 10,361人（内訳：大人4,620人・子ども5,741人）

※令和2年度は8,606人（内訳：大人3,655人・子ども4,951人）

・陽だまりサークル

子育て中の親を対象に、友達づくりの場の提供、一時的に子どもと離れリフレッシュできる場の提供を目的に開催した。

1回目 <概要及び参加者> 日程：令和3年5月27日 参加者：11名

<内容>「ヨーガ講座」

<講師>竹内 仁奈氏

2回目 <概要及び参加者> 日程：令和3年6月25日 参加者：7名

<内容>「ママのためのお片づけ講座」

＜講師＞松澤 りえ氏

3回目 ＜概要及び参加者＞ 日程：令和3年10月29日 参加者：8名

＜内容＞「刺繍のくるみボタンでアクセサリー作り」

＜講師＞比松 彩氏

4回目 ＜概要及び参加者＞ 日程：令和3年11月25日 参加者：7名

＜内容＞「消しゴムハンコでクリスマスカード作り」

＜講師＞広田あや子氏、藤原麻衣子氏

・おもちゃ病院

毎月第3木曜日に開催した。(新型コロナウイルス感染症の影響により9・12月は中止)

・プレイリヤカー

新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。

イ カフェ事業

通常のカフェとしての運営を行ったが新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントは中止し、緊急事態宣言中は逗子市の方針に沿って営業を休止した。また、3月より収支の均衡を図るため値上げを行った。

・営業時間 11時～16時（ラストオーダー 15時30分）

11時～17時（ラストオーダー 16時30分）7・8月の平日

・営業日数 268日

・メニュー 簡単なランチ（カレー等）、飲み物（コーヒー・お茶・紅茶等）、アイスクリーム、地元商店や手作りの弁当、焼き菓子、パン類等。

ウ 情報事業

子育てが円滑になり、意欲的に取り組めることや孤立せずに子育てできることを目的として、以下の情報の発信を行った。

・子育て応援紙 陽だまり

未就園児の親を対象にした情報紙「子育て応援紙 陽だまり」の企画・編集・発行を行った。年3回発行、配布部数2,395部、配布先41ヶ所。

・えがおレポート

逗子市の子育てポータルサイトに、市内の様々な情報を掲載した。レポーターは広報などで子育て中の市民を募集した。掲載13回。

エ 子育てネットワーク会議

子育て世代の意見を市の子ども・子育て支援施策に反映することを目的とした市民参加型の会議を1回開催した。

② 体験学習施設における児童青少年の健全育成に係る事業（逗子市からの受託事業）

0歳から18歳までの子ども達が継続的に利用できる場所を目指し以下の事業を実施した。

ア 地域等と連携・協働した児童青少年健全育成支援の推進に関すること

スマイルまつりなどの企画運営に関わりスマイルハロウィン、仮装コンテスト、子どものまちな模型作り等を行った。

・スマイルハロウィン（1回）、子どものまち政策（1回）、ピニャータづくり（1回）、ハロウィン飾りつけ（1回）

イ 体験学習施設において実施する児童青少年に向けた講座に係る企画運営に関すること

・お片づけ講座（1回）、プログラミング講座（2回）、商人塾（2回）、スマイルボランティアクラブ（6回）、スマイルボランティア部（6回）

- ウ 児童青少年に対する専門的な指導及び逗子市学生懇話会に関すること
講座やスマイルまつり、スマイルハロウィンなど総合的な活動を通して、学生委員会の子ども達による自主的な運営が行われる様専門指導員と連携して業務を行った。
- エ 子育て支援並びに児童青少年健全育成に係るサポーター等の養成及び派遣等のコーディネート業務に関すること
子育てをサポートする人材を育成し、逗子市の子育て支援の充実や市民協働による支援体制の強化を図り、現場で活躍する仕組みづくりを行った。夏期教員研修に市民枠を設けて開催した。
・子育てサポーター育成講座（7回・教員研修3回）、虹色サポーター（小学校5校・中学校3校・ミーティング10回）、サポーターコーディネートセンター（10回）、サポーターサークル（4回）
- オ 児童青少年の放課後学習支援及び居場所づくりの企画等に関すること
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。

③ イベント保育サポーター派遣事業（一部逗子市からの受託事業）

子育て中の保護者が講演会などに参加しやすいように、講演会開催時に参加者の子どもを一時保育するイベント保育サポーター派遣事業を実施した。

派遣実績

サポーター登録者数	49名（49名）	市委託
派遣依頼回数	22件（24件）	17件
派遣人数	延べ53名（82名）	44名

※（ ）内は、令和2年度度実績

（6）介護予防普及啓発・地域活動支援事業（逗子市からの受託事業）

地域におけるふれあいサロン等の介護予防事業において、体操や音楽指導の講師による出前講座ならびにその調整を行った。

① 地域介護予防活動支援業務状況

- ・業務別実施回数 体操指導 190件 2,290名（内高齢者 2,176名）
口腔指導 4件 52名（内高齢者 47名）
音楽指導は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
- ・介護予防地域活動団体のサロン活動に係る相談業務
講師派遣について221件・状況確認について352件

② 逗子市地域介護予防活動支援補助金関連業務

逗子市地域介護予防活動支援補助金について、各サロンの申請等に係るコーディネートや事前審査を行った。

- ・逗子市地域介護予防活動支援補助金申請手続きに係る補助業務
交付申請書提出補助35件・実績報告書提出補助23件・その他1件（すべて延べ件数）

③ 逗子市地域介護予防活動支援補助金交付 19団体（令和2年度16団体）

2. ボランティアセンター事業

（1）ボランティア活動事業

ボランティア活動に関する相談、登録及びボランティアニーズの需給調整を行うとともに、ボランティアの活動拠点を提供した。また、ボランティアの資質向上と活動領域を広めるための各種講座の開催、ボランティアグループとの連絡調整等、ボランティア活動がより豊かなものとなるよう支援し、地域福祉の向上発展に努めた。

① ボランティア相談員によるコーディネート業務

ボランティア活動に関する各種相談に応じるとともに、「ちょっとした困りごと」のニーズ需給調整や活動に関する助言などを行った。また、地域活動者（お互いさまサポーター）や自治会と連携した支援体制の構築やボランティア活動の活性化に向けた支援を行った。

・ボランティア相談、地域支援、個別支援に対する相談 合計 52 件（令和 2 年度 57 件）

② ボランティアの育成支援

登録ボランティアがボランティア活動を行うにあたり育成・支援を行った。また、ボランティア活動保険（全額自己負担）加入希望者への対応を行った。

・ボランティア活動保険加入者数

個人ボランティア 15 名（令和 2 年度 11 名）

ボランティアグループ登録者 682 名 34 団体（令和 2 年度 700 名）

③ ボランティア村の開催

・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

④ 情報カフェ

高齢者を中心に自分のパソコン、スマホ、タブレットを持ち込み、専門家による指導のもと、操作方法等を学び、情報共有する場を開催した。

<概要及び参加者> 開催日：毎月第 4 月曜日 全 5 回（新型コロナウイルス感染症の影響により
4・5・7・8・9・10・12 月は中止）

参加者：延べ 69 名 会場：福祉会館

<リーダー>（株）コストプランニング松本健一郎氏他 5～8 名

（2）災害対応事業（逗子市からの一部受託事業）

逗子市が行う避難行動要援護者避難支援計画の実施に協力した。逗子市災害救援ボランティアセンター設置運営訓練、災害ボランティア育成講座の開催は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。また、逗子市災害救援ボランティアセンターのマニュアルについて見直し・改訂を行った。

（3）福祉教育推進事業

① 福祉教育の実施

市内小・中学校からの要請を受け、地域の実情に即した形での福祉体験を通し、人と人との関わり合いや地域において互いに支え合うことの大切さを学ぶ協力を行った。地域の社会資源や地域教育力を活用して実施した。

ア 小学校

・市内 5 校、17 日間、39 コマ実施。

・内容：高齢者・障がい者等、地域の様々な人との交流（対話、ボッチャ、アクションペインティング、演奏等）、講話「ふくしってなに？」、講話「苦手な子がいなくなる方法」等

イ 中学校

- ・市内2校、5日間、11コマ実施。
- ・内容：発達障がい・LGBT・認知症をテーマとした講話、ワーク、避難所生活から考える福祉の学習（講話、避難所設置体験、ワーク）

② サマースクールの実施

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

サマースクール（夏休み期間）は中止し、12月～3月に各施設へボランティア受入依頼をした。受入可能施設が数か所あり、参加予定者に声掛けし1名が参加した。

③ 福祉教育チームの運営

逗子市における福祉教育実践の協議及び、具体化したプログラムを検討する場として、福祉教育チームを設置した。福祉教育セミナー、プロジェクト、全体会（拡大メンバー会合）等について検討した。

ア 会議の開催 10回開催

イ 第18回福祉教育セミナー「誰一人取り残さないまち逗子を目指して」開催

<概要及び参加者> 日程：令和3年12月18日 会場：逗子市役所、オンライン（ZOOM）

参加者：65名（逗子市役所55名、オンライン10名）

<対象> 地域福祉に興味関心がある市民及び福祉関係者

<内容> パネルトーク、基調講演、グループワーク

<講師・パネラー>

原田正樹氏（日本福祉大学 教授）、飯野幸氏、津留崎寿美子氏（絵本・アートプロジェクト）、出居尚樹氏（学校実践プロジェクト）、桑原泰恵氏（地域活動プロジェクト）、來島政史氏（ズシレコ 編集長）、柳治郎氏（コミュニティーデリバリー逗子代表）

ウ プロジェクトの開催

・学校実践プロジェクト 12回開催

・地域活動プロジェクト 12回開催

・絵本・アートプロジェクト 12回開催

エ 拡大メンバー会合（全体会）の開催

・福祉教育セミナーを拡大メンバー会合として位置づけた。

④ 各種講座の開催

ア 「逗葉地区コミュニティソーシャルワーク基礎研修」（神奈川県社協からの受託事業）

<概要及び参加者> 日程：住民向け 令和4年1月23日（逗子5名、葉山14名）

専門職向け 令和4年3月23日（逗子10名、葉山5名）

会場：オンライン

<内容> 講義・グループワーク等

<講師・シンポジスト>

菱沼幹男氏（日本社会事業大学 准教授）、宮脇文恵氏（宇都宮短期大学 教授）、龍村敦子氏（山の根自治会）、白澤和子氏（サロン de スマイル（葉山））

※神奈川県社会福祉協議会、葉山町社会福祉協議会と共催

イ 「みんなで支えあう地域づくり～地域支えあい学習会～」（逗子市からの受託事業）

<概要及び参加者>

日程：第1回 令和3年5月17日（参加者 逗子16名・葉山22名）、5月31日（参加者

逗子 15 名・葉山 16 名)

第 2 回 令和 4 年 1 月 17 日 (参加者 13 名)、1 月 31 日 (参加者 9 名)

会場：第 1 回 逗子市役所 (オンライン参加有)

第 2 回 1 日目：逗子文化プラザ市民交流センター 2 日目：オンライン

<内容> 講義、グループワーク等

<講師・シンポジスト>

第 1・2 回 宮脇文恵氏 (宇都宮短期大学 教授)

第 1 回 岩間美由紀氏 (湘南・横浜若者サポートステーション)、石森吾郎氏 (ひきこもり経験者)、橋本由美子氏 (家族会ゆずり葉の会)、下山良嗣氏 (一般社団法人 星とおひさま 葉山里山の学校)。

第 2 回 河井 志津子 氏 (認知症の方の家族)、松野則子氏、高橋和恵氏、吉田優子氏 (逗子介護家族会)、大坂慎介氏 (逗子市福祉部社会福祉課地域共生係)、宮崎千晶氏 (逗子市東部地域包括支援センター)、赤松伸子氏 (逗子市中部地域包括支援センター)、洞田明子氏 (逗子市東部地域包括支援センター)。

※第 1 回は、逗子市、葉山町、葉山町社会福祉協議会、第 2 回は、逗子市と共催

3. 助成事業

各種福祉団体に対し、団体助成金交付事業として助成金交付審査会において、適正な審査を行い、活動費等の助成を行った。

(1) 各種福祉関係団体活動支援

当事者等団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
8 (7)	199,500 (158,033)

※ () 内は、令和 2 年度実績

※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

(2) ボランティア団体活動支援

ボランティア団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
12 (15)	383,500 (384,856)

※ () 内は、令和 2 年度実績

※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

(3) 子ども食堂応援事業協力金の支給

新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども食堂の継続に支障が出ている団体の活動を支援するため、要綱等を整備し、協力金を支給した。

団体数	助成額(円)
1	50,000

Ⅲ. 自立支援事業部門

1. 日常生活自立支援事業（名称：逗子あんしんセンター 神奈川県社協からの受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者及び判断能力に不安がある方のために、福祉サービスの利用手続き等の援助をはじめ、日常生活に伴う預金の預け入れや引き出しなどを支援する日常的な金銭管理サービス及び通帳・権利書などの重要書類をお預かりする書類等預かりサービスを実施し、地域で自立した生活ができるよう支援を行った。

（1）相談対応・実績

① 相談援助件数

新規初回相談	26 (24)
契約者へのサービス提供に関する訪問活動	773 (855)
サービス提供以外で相談者・契約者に関する相談援助	1,935 (2,089)
合計	2,734 (2,968)

※（ ）内は、令和2年度実績

② 新規契約件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	6	0	0	0	1	7
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	1	0	0	0	1

③ 契約終了件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	4	0	1	0	0	5
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	0	1	0	0	1

※契約終了理由：死亡1件 施設入所3件 支援の継続困難1件 自己管理へ移行1件

④ 契約人数

令和4年3月末時点【実契約人数35名】（実契約人数33名）

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	12 (10)	6 (6)	2 (5)	4 (6)	1 (0)	25 (27)
書類等預かり	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
両方契約	3 (1)	3 (2)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	9 (5)

※（ ）内は、令和2年度（令和3年3月末実績）

（2）その他

① 契約締結審査会（神奈川県社協）

契約及び解約の可否、支援内容の承認や助言等を行った。

・2回開催 令和3年4月9日、令和3年11月12日

② 局内カンファレンス

契約及び解約の可否、支援内容の承認や助言、生活支援員選任及び退任の承認等を行った。

- ・ 4回開催 令和3年5月10日、10月19日、12月2日、令和4年3月15日

③ 生活支援員の登録人数

- ・ 登録 11名（現民生委員児童委員1名、民生委員児童委員による推薦1名、ボランティア団体推薦6名、元民生委員児童委員1名、元消防職員2名）

④ 弁護士相談（月1回、第4金曜日、14時～16時）

内容	成年後見	相続	財産管理	家族関係	金銭トラブル	不動産関係	近隣トラブル	遺言書	債務整理	その他	合計
件数	0 (4)	4 (4)	0 (0)	6 (3)	1 (1)	6 (4)	0 (2)	0 (2)	1 (3)	3 (2)	21 (25)

※（ ）内は、令和2年度実績

⑤ 広報・啓発

- ・ 市広報紙、本会広報紙（法律相談）

2. 成年後見事業

(1) 法人後見事業

判断能力の不十分な高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等の権利擁護を図るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等、身上監護を中心とした日常生活支援を成年後見人等として実施した。

① 法人後見業務

業務	後見	保佐	補助	合計
受任件数	5 (5)	2 (2)	0 (0)	7 (7)
終了件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)

※（ ）内は、令和2年度実績

(2) その他

成年後見制度の普及や円滑な推進のため、相談支援の強化、専門機関とのネットワークを活用した。

① 成年後見相談（専門員相談）

内容	制度説明	家族関係	専門職相談	合計
件数	1 (6)	4 (6)	4 (8)	9 (20)

※（ ）内は、令和2年度実績

② 成年後見相談（月1回 第4水曜日 14時～16時）

内容	制度	家族関係	合計
件数	12 (5)	6 (1)	18 (6)

※（ ）内は、令和2年度実績

③ 広報・啓発

- ・市広報紙、本会広報紙（成年後見相談）

3. 生活困窮者自立相談支援事業（逗子市からの受託事業）

生活困窮者等が様々な困窮状態から早期に脱却することを支援し、自立を促進することを目的とした自立相談支援を実施した。また、逗子市の新型コロナウイルス対策総合窓口における相談及び住居確保給付金の対応に取り組んだ。

（1）相談対応・実績

① 相談件数

- ・新規相談件数 97 件（令和2年度 174 件）
- ・継続相談件数 169 件（令和2年度 55 件）

② 対応延べ件数

電話	来所	訪問	メール	その他	合計
1,134 (1,324)	437 (533)	79 (124)	15 (84)	322 (26)	1,987 (2,091)

※（ ）内は、令和2年度実績

（2）対応状況

- ・住居確保給付金 20 件（68 件）
- ・常用就職者（支援前失業中等） 21 件（9 件）
- ・プラン作成件数 33 件（42 件）
- ・生活保護受給決定者 9 件（8 件）
- ・生活福祉資金貸付者（生保受給者等除く） 57 件（111 件）
- ・たすけあい資金貸付延べ件数（生保受給者除く） 34 件（44 件）
- ・生活保護受給者等就労自立促進事業申請者 25 件（35 件）

※（ ）内数値は、令和2年度実績

4. 家計改善支援事業（逗子市からの受託事業）

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、自立相談支援事業と連携し、家計の見直しや債務整理等の支援を行った。

（1）相談対応・実績

- ・14 件（うち逗子市支援決定 2 件）
- ※令和2年度実績 17 件（うち逗子市支援決定 5 件）

（2）対応状況

家計表による家計、金銭管理支援を行った。

- ・債務整理 2 件（任意整理 0 件、自己破産 2 件、個人再生 0 件）

※令和2年度実績 2 件（任意整理 0 件、自己破産 1 件、個人再生 1 件）

5. フードドライブ事業

市民からの食料支援等の協力をいただき、食料で困っている世帯に対し、食料の配布を行った。また、利用者への毎月の状況確認を行い、継続的な支援を行う共に、市内子ども食堂スタッフ、民生委員児童委員協議会との連絡会を開催し、事業企画、情報共有等を行った。

(1) 食料支援

- ・食料支援(白米、レトルト食品、麺類等) 352件 (令和2年度 238件)

(2) 子ども応援大作戦

新型コロナウイルス感染症の影響等により困窮している子どもがいる世帯を対象に、期間限定の食料支援を行った。必要に応じ定期的なフードドライブ事業に繋げ、継続的な支援も視野に入れ実施した。

① 概要

- ・ 1回目 配布期間：令和3年7月12日～16日
配布世帯：40世帯 (内ひとり親世帯 20世帯 (内1世帯が父子家庭))
配布人数：145人
- ・ 2回目 配布期間：令和3年12月20日～24日
配布世帯：52世帯 (内ひとり親世帯 22世帯 (内1世帯が父子家庭))
配布人数：計195人
- ・ 3回目 配布期間：令和4年3月22日～25日
配布世帯：43世帯 (内ひとり親世帯 17世帯)
配布人数：計163人

※令和2年度は2回実施

② 協力機関等

- ・共催：市内子ども食堂スタッフ有志
- ・協力：逗子市、逗子市教育委員会、逗子市民生委員児童委員協議会、神奈川県共同募金会、逗子ロータリークラブ、横須賀ゾンタクラブ

6. 生活支援事業

(1) 資金貸付事業

① 生活福祉資金貸付 (神奈川県社協からの受託事業)

他の融資を受けることが困難な低所得世帯や障がい者世帯等に対し、民生委員児童委員と本会が窓口となり生活及び相談貸付援助、償還指導を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の対応に取り組んだ。

貸付相談・決定状況

区分	相談延べ件数	内訳
貸付相談	1,327 (1,717)	一般貸付<特例480件含>557件 (1,132件) ※主な相談内容 福祉資金、教育資金、緊急小口資金 不動産担保型生活資金 8件 (26件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0件 (0件) 総合支援資金(全て特例)762件 (559件)

貸付決定	280 (576)	一般貸付 107 件 (324 件) ※内訳 教育 0 件、緊急小口 0 件、福祉資金 0 件、 緊急小口(特例) 107 件 不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 総合支援資金 173 件 (252 件) ※内訳 総合初回 102 件 延長貸付 12 件 再貸付 59 件
------	--------------	---

※ () 内は、令和 2 年度実績

② たすけあい資金貸付

低所得世帯等を対象に、緊急かつやむを得ない状況にある者に対し、福祉事務所、ハローワーク及び民生委員児童委員等と連携し、貸付・相談援助・返済指導を行った。

対応状況

相談延べ件数	貸付件数	貸付総額(円)	償還総額(円)
66 (72)	34 (45)	325,000 (510,000)	345,000 (394,000)

※ () 内は、令和 2 年度実績

(2) 生活援護事業

① 災害援護

火災等に罹災し、全焼・全壊・死亡及び半焼・半壊・重傷の世帯に対し、見舞金を支給した。

・対応状況 全焼 2 件 (20,000 円)

※令和 2 年度実績 1 件 (10,000 円)

② 交通遺児援護

県社会福祉協議会とは別に本会財源により、交通遺児に対し、小中学校入学時又は中学校、高校卒業時の祝金等の支給を行った。

・支給状況 高校卒業 1 件 (20,000 円)

※令和 2 年度実績 1 件

7. 在宅支援事業

(1) フレンドリーヘルパー派遣事業

市内在住の高齢者や乳幼児を子育て中の家庭で、一時的又は継続的に家事支援等を必要とする方を対象に、本会会員の互助事業として、日常の家事援助サービス等を実施した。

緊急事態宣言中は、ヘルパーを派遣せず、必要な世帯に対してはコーディネーターが対応した。

① ヘルパー活動 (高齢者対応)

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	90 名 (134 名)
ヘルパー登録者数	38 名 (51 名)
派遣人数	延べ 748 名 (316 名) 月平均 62.3 名 (26.3 名)
派遣時間	延べ 3,919 時間 (4,279.5 時間) 月平均 326.6 時間 (356.6 時間)

※ () 内は、令和 2 年度実績

② ヘルパー活動（乳幼児対応）

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	12名（9名）
ヘルパー登録者数	9名（14名）
派遣人数	延べ41名（24名） 月平均3.4名（2名）
派遣時間	延べ 234.5時間（115.5時間） 月平均 19.5時間（9.6時間）

※（ ）内は、令和2年度実績

③ フレンドリーヘルパー定例研修会

資質向上のため定例研修会は、家族のための介護教室と合同で実施した。

(2) あゆむサービス事業

一時的又は継続的に家事援助等を必要とする65歳以上の要支援・事業対象者の方に対し、家事援助等のサービスを提供する事業あり、当該世帯の福祉の向上を図るために実施した。

介護予防・日常生活支援総合事業における「住民主体による訪問型サービス事業」のサービス提供団体として逗子市と協議しながら住民ニーズに即したサービス提供を実施した。

また、緊急事態宣言中は、ヘルパーを派遣せず、必要な世帯に対してはコーディネーターが対応した。

① 活動実績

内容	人数・活動日数
利用者登録数	8名（29名）
ヘルパー登録者数	17名（35名）
派遣人数	延べ67名（56名）
利用時間（ゴミ出し除く）	延べ 44.5時間（94.5時間） 月3.7時間 平均（7.8時間）
利用回数（ゴミ出し）	延べ 254回（278回） 月平均21回（23回）

※（ ）内は、令和2年度実績

② 研修会

資質向上のため定例研修会は、家族のための介護教室と合同で実施した。

(3) 家族介護者支援事業（逗子市からの受託事業）

在宅で家族を介護している方を対象に、家族介護者教室の開催により、介護に必要な知識・技術の習得及び相互交流を実施した。なお、第3回、第4回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

① 「今だからこそ押さえてたい～感染症の基礎知識と対策～」

<概要及び参加者> 日程：令和4年1月8日

参加者：10名

会場：福祉会館

<内容> 講義

<講師> 逗葉地域在宅医療・介護連携相談室 高木アキ子氏

② 「これって自粛疲れ?～活動減少がもたらす身体への影響～」

<概要及び参加者> 日程：令和4年1月15日

参加者：14名

会場：福祉会館

<内容> 講義

<講師> えんりハ代表 中村亮氏

(4) お元気確認サービス事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等を対象に、平日の朝に電話等で安否確認を行い、家族等の指定先に報告を実施した。

・利用人数7名

※(令和2年度実績 利用人数7名)

(5) ひとり暮らし高齢者訪問指導事業(逗子市からの受託事業)

おおむね65歳以上の単身世帯を訪問し、心身の状況及び家族等の状況の実態を把握するとともに生活上、介護上の相談及び助言その他必要な相談及び助言を行った。

月	区分	逗子		桜山		沼間		池子		山の根		久木		小坪		新宿		合計	
		在宅	不在	在宅	不在	在宅	不在	在宅	不在	在宅	不在	在宅	不在	在宅	不在	在宅	不在	在宅	不在
		168	104	377	242	361	238	272	168	132	76	268	188	292	199	107	68	1,977	1,283
		(190)	64	(374)	135	(403)	123	(270)	104	(169)	56	(295)	80	(359)	93	(112)	39	(2,172)	694

※()内は、令和2年度実績

8. 介護人材育成事業

(1) 介護に関する入門的研修(神奈川県社会福祉協議会・逗子市からの受託事業)

地域で活躍する専門職や本会の職員等が講師となり、介護に関する入門的研修を開催し、介護現場で働く人材育成の第一歩となる機会を提供した。

<概要及び参加者> 日程：令和3年11月27日～12月18日の4日間

会場：福祉会館

参加者：研修修了者15名

<対象> 介護の仕事未経験・未就労であり、介護の資格未取得の方。

<内容> カリキュラムに準じて実施。23時間の研修。

<講師> 市内介護保険事業所職員、本会職員。

(2) 介護職員初任者研修

地域で活躍する専門職や本会の職員等が講師となり、介護職員初任者研修を開催し、地域の介護人材の育成と確保を図った。

<概要及び参加者> 日程：令和3年5月11日～7月24日の33日間

会場：福祉会館

参加者：研修修了者16名

<対象> 逗子市在住・在勤・在学のいずれかで、介護職員として働くことに意欲を有する16歳から65歳以下で心身共に健康な方。

<内容> カリキュラムに準じて実施。130時間の研修。

<講師> 市内介護保険事業所職員、本会職員。

9. さくら貝サービス事業所

(1) 居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）の作成管理及び給付管理を行った。

① 利用人数

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
86 (69)	86 (70)	88 (77)	83 (82)	85 (87)	82 (89)	87 (89)	90 (91)	94 (90)	89 (88)	87 (91)	84 (89)	1,041 (1,012)
18	18	19	19	19	19	19	21	22	21	19	18	232

※（ ）内は、令和2年度実績

(2) 居宅訪問介護サービス事業（介護保険事業）

訪問介護員によるサービス提供（身体介護・生活援助・訪問型サービス）を行った。

① 利用人数及び利用時間数

（表記は時間：分）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	123 (115)	120 (111)	119 (111)	119 (120)	119 (122)	121 (122)	123 (129)	124 (130)	119 (124)	121 (121)	118 (125)	115 (122)	1,441 (1,452)
予防(再掲)	23	22	23	24	23	23	22	22	21	21	20	18	262
利用時間数	1565:20 (1390:10)	1490:15 (1361:45)	1476:45 (1378:50)	1469:40 (1539:40)	1409:26 (1509:50)	1438:25 (1526:15)	1468:10 (1611:50)	1504:10 (1555:50)	1513:10 (1494:20)	1458:40 (1372:00)	1348:15 (1355:55)	1493:30 (1535:45)	17635:46 (17632:10)

※（ ）内は、令和2年度実績

② 利用時間数内訳

（表記は時間：分）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体介護	758:20 (608:25)	723:50 (630:00)	699:20 (641:50)	680:40 (754:20)	663:15 (726:00)	689:35 (734:10)	684:55 (795:20)	676:40 (759:20)	726:15 (731:20)	720:50 (642:55)	627:50 (643:45)	703:30 (723:30)	8,355:00 (8,390:55)
生活援助	660:30 (602:40)	634:35 (579:25)	635:40 (573:30)	640:15 (624:20)	596:21 (625:30)	602:50 (624:35)	645:25 (662:00)	691:45 (643:40)	662:50 (606:30)	628:55 (578:15)	619:05 (567:20)	685:20 (659:00)	7,703:21 (7,346:45)
訪問型サービス	146:30 (153:00)	131:50 (152:20)	141:45 (163:30)	148:45 (161:00)	149:50 (158:20)	146:00 (167:30)	137:50 (155:00)	135:45 (152:50)	124:05 (156:30)	109:05 (150:50)	101:20 (144:50)	104:40 (153:15)	1,577:25 (1,868:55)
合計	1565:20 (1364:05)	1490:15 (1361:45)	1476:45 (1378:50)	1469:40 (1539:40)	1409:26 (1509:50)	1438:25 (1526:15)	1468:10 (1612:20)	1504:10 (1555:50)	1513:10 (1494:20)	1458:40 (1372:00)	1348:15 (1355:55)	1493:30 (1535:45)	17,635:46 (17,606:35)

※（ ）内は、令和2年度実績

(3) 障害者総合支援事業

身体障害者居宅介護等事業（家事援助・身体介護・通院介助・重度訪問介護）、移動支援事業（移動支援）を行った。

① 障がい福祉サービス (利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	162.50 (145:00)	181.50 (152:30)	165.50 (149:00)	191.50 (163:00)	184.50 (151:30)	201.50 (156:30)	176.00 (167:00)	172.00 (152:00)	153.50 (150:00)	166.50 (155:00)	137.50 (162:00)	182.50 (185:00)	2,075:00 (1888:30)
利用人数	16 (13)	16 (12)	16 (13)	16 (12)	16 (13)	16 (12)	16 (14)	15 (16)	15 (13)	16 (13)	16 (14)	16 (14)	190 (140)

※ () 内は、令和2年度実績

② 移動支援サービス (利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	68:50 (26:00)	58:00 (36:00)	55:00 (43:30)	72:00 (36:30)	48:50 (48:30)	56:50 (40:30)	97:50 (65:30)	66:00 (63:30)	99:00 (33:30)	52:50 (41:00)	64:50 (68:00)	97:50 (70:15)	835:50 (572:45)
利用人数	6 (4)	6 (5)	6 (3)	6 (4)	5 (5)	5 (3)	7 (6)	7 (5)	7 (4)	5 (5)	7 (4)	6 (6)	73 (54)

※ () 内は、令和2年度実績

10. 地域包括支援センター (逗子市からの受託事業)

担当地域における高齢者に対し、心身の健康保持及び生活の安定のための必要な支援を行った。

(1) 総合相談・支援業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	101 (88)	100 (106)	128 (134)	108 (119)	142 (116)	116 (135)	119 (98)	127 (116)	103 (138)	120 (119)	98 (95)	121 (90)	1,383 (1,354)
対応延件数	280	316	316	295	340	260	303	282	238	314	215	354	3,513

※ () 内は 令和2年度実績

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	13 (8)	2 (11)	13 (1)	11 (1)	4 (3)	9 (0)	6 (3)	12 (0)	4 (0)	2 (1)	1 (2)	7 (7)	84 (37)

※ () 内は、令和2年度実績

② 高齢者虐待への対応

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	0 (12)	2 (1)	2 (2)	2 (18)	1 (2)	1 (1)	4 (0)	9 (1)	3 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (9)	30 (47)

※ () 内は、令和2年度実績

③ 消費者被害の防止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	0 (0)	0 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	4 (2)	0 (3)	1 (2)	1 (3)	1 (0)	7 (20)

※ () 内は 令和2年実績

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

① 介護支援専門員への助言等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応実件数	6	5	9	9	6	5	5	1	3	5	3	3	60
	(3)	(3)	(4)	(4)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)	(1)	(6)	(1)	(25)

※ () 内は、令和2年実績

② 介護支援専門員対象の研修会等開催

- ・ケアマネサロンの開催（他の地域包括支援センターと合同開催） 2回

(4) 予防給付・介護予防ケアマネジメント業務

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	当年度計
委託	契約件数	1	1	1	0	4	2	3	2	1	4	2	1	22
		(1)	(1)	(1)	(4)	(5)	(0)	(1)	(1)	(0)	(2)	(0)	(0)	(16)
	給付件数	78	75	75	71	71	71	76	75	74	77	71	71	885
		(89)	(95)	(93)	(94)	(93)	(95)	(89)	(84)	(85)	(82)	(80)	(84)	(1,063)
包括	契約件数	2	2	0	2	0	0	0	5	2	5	7	2	27
		(2)	(2)	(1)	(2)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)	(1)	(15)
	給付件数	97	96	99	103	103	98	94	101	101	94	102	99	1,187
		(94)	(109)	(92)	(95)	(97)	(96)	(98)	(102)	(99)	(98)	(100)	(103)	(1,183)
給付件数合計		175	171	174	174	174	169	170	176	175	171	173	170	2,072
		(183)	(204)	(185)	(189)	(190)	(191)	(187)	(186)	(184)	(180)	(180)	(187)	(2,246)

※ () 内は、令和2年度実績

(5) 認知症に関する取り組み

① 関係機関との連携

- ・逗子警察と特殊詐欺に関する定期情報交換 12回
- ・家族会開催の事務局を担う
- ・リモート認知症カフェの啓発で、県より実践報告発表の依頼 2回報告発表

② 認知症サポーターの養成・認知症の理解促進

- ・認知症サポーター養成講座 1回 16名参加
- ・認知症に関する勉強会 1回 34名参加
- ・福祉教育推進事業において中学生に対し、認知症に関する講話を担当。

③ おれんじカフェの運営

- ・認知症カフェの開催 12回 年間延べ参加人数132名

④ 居場所づくり

- ・当事者在住の地域で、認知症の方と家族を対象としたコンサート開催 30名参加

(6) 介護予防実態把握事業

逗子市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より抽出された対象者に対し、訪問等により面談を行い、フレイルに関する情報・助言を重点的に行った。

- ・訪問件数 41 件

(7) 地域ケア会議推進事業

- ① 個別課題に関する地域ケア会議 3 回開催

- ② 介護予防のための地域ケア個別会議 4 回開催
 - ・「コロナ禍における高齢者の心身の状況の変化」

- ③ 地域課題に関する地域ケア会議 2 回開催
 - ・「高齢者が安心して買い物できる商店街づくり」認知症買い物ガイド作成中
 - ・「家族会について」

(8) 生活支援・介護予防サービス体制整備事業

第2層生活支援コーディネーターとして、地域資源の把握・資源開発・ネットワーク構築等について第1層生活支援コーディネーターと連携し、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を実施した。

- ① 地域のニーズと資源状況、課題の把握

- ・認知症の方、高齢者の買い物に関する状況を、近隣の訪問介護事業所及び居宅介護支援事業所に対してアンケート調査を実施。訪問介護事業所 23 件中 11 件、市内居宅介護支援事業所 77 件中 42 件の回答。

- ② 資源開発の企画・立案

- ・「ウォーキングマップ」を作成中。地域住民の意見を反映させるためにウォーキングイベントを開催。2回 延べ18名参加。

- ③ 地域における支えあい・介護予防の取り組みに関する普及啓発

- ・「逗子しおかぜ体操」を通じて、介護予防、地域づくりを継続支援。
- ・民生委員児童委員による「はがきによるお元気確認」の取り組みを支援。
- ・介護予防実態把握事業から身体的フレイルに陥っている人や、活動場所が減ってしまった方を対象に「フレイル予防講座」を実施。9回 延べ131名参加
- ・週1回住民主体で実施するための「ラジオ体操」の継続支援。

- ④ 関係機関等との連携及びネットワーク構築

- ・第1層生活支援コーディネーターとの打ち合わせ。 12 回
- ・逗子市社会福祉課への報告。 12 回
- ・多様なサービス検討会に参加。 1 回
- ・民生委員児童委員協議会（中部地区・西部地区）への参加。 20 回
- ・お互いさまサポーター集会、地域サロン等への参加。 48 回

(9) 重層的体制整備事業

- ・個別の相談を通して、関係機関と連携し、支援の方向性等を検討した。

- ・閉じこもりの支援について地域福祉推進係と協議、検討した。
- ・多世代の人が同じ時間を過ごせる居場所を、地域住民と一緒に作った。

(10) その他

① 地域包括支援センター連絡会議

- ・円滑な運営・事業展開を図るため、市と他のセンターによる定期連絡会に出席した。

② 独居高齢者等情報交換会等

- ・市が主催する地域の独居高齢者の把握及び情報交換を目的とした情報交換会に定期的に参加した。
また、市からの依頼により、ひとり暮らし台帳作成のための訪問業務及び台帳の作成事務を行った。

③ センター内カンファレンス

- ・対応困難事例や虐待ケース等について必要に応じカンファレンスを実施した。

IV. その他

1. 逗子市福社会館管理運営事業（逗子市からの受託事業）

福社会館の指定管理者として、市民に使いやすい施設運営を目指し管理運営した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館及び利用定員の制限等、感染症予防に関する対応を行った。

※休館期間 令和3年8月17日から9月25日（平日27日 土曜日6日）

(1) 部屋別利用状況

区分	会議室		研修室		ボランティアコーナー		小会議室		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	483 (312)	4,753 (2,796)	266 (174)	2,478 (1,714)	358 (295)	1,395 (1,114)	117 (76)	673 (429)	0 0	0 0	1,224 (857)	9,299 (6,053)

※（ ）内は、令和2年度実績

(2) 利用者別利用状況

区分	行政関係		福祉団体		各種団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	23 (8)	346 (109)	1,051 (833)	6,990 (5,851)	150 (16)	1,963 (93)	1,224 (857)	9,299 (6,053)

※（ ）内は、令和2年度実績

(3) 有料件数と金額

件数	150 (16)
金額 (円)	68,625 (8,925)

※（ ）内は、令和2年度実績

2. 基金等運営事業

(1) あゆむ銀行の運営

預託のあった善意（金品）を、預託者の主旨に基づき地域に還元した。市民の方々及び団体から多くの善意が寄せられた。

① 金銭

目的別	件数	金額(円)
一般福祉	97 (59)	3,754,470 (399,667)
障がい児者福祉	0 (1)	0 (50,000)
高齢者福祉	6 (2)	68,200 (405,000)
児童福祉	1 (4)	274,788 (45,000)
ひとり親世帯福祉	1 (1)	10,000 (10,000)
福祉基金	0 (1)	0 (45,000)
フレンドリーヘルパー事業	0 (1)	0 (10,000)
生活困窮者自立支援事業 (フードドライブ事業含む)	28 (33)	940,890 (1,285,645)
合計	133 (102)	5,048,348 (2,250,312)

※（ ）内は、令和2年度実績

② 物品

- ・事務用品、電動自転車、家具、車いす、食料品、介護用品など。
- ・ペットボトルキャップ回収活動をNPO法人、市民交流センターと協働で実施し、リサイクル収益の一部を寄付とした。寄付金額 1,949 円。

(2) 福祉基金の運営

福祉基金を一部運用し、基金果実を地域福祉事業の財源とした。

- ・基金果実額 893,377 円

3. 車いす・イベント機器の貸出

各種団体等に車イス、テント、机、イス、綿菓子機、ポップコーン機、もちつきセット等を有料（車イスは無料）で貸し出すとともに、市民活動を支援するため、印刷機・コピー機の利用を提供した。

福祉機器等貸出状況

貸出物品	車イス	テント	机	イス	綿菓子機	ポップコーン機	もちつき	合計
件数	31 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	39 (18)

※（ ）内は、令和2年度実績

4. 社会福祉実習生の受け入れ

福祉人材の育成を目的に近隣大学等からの依頼による実習生を受け入れた。

- ・神奈川県立保健福祉大学1名、関東学院大学1名
- ・受入期間：令和3年8月10日～9月9日

5. 駐車場管理運営事業

地域福祉事業の財源を確保するため、小坪海浜地駐車場の駐車場管理運営を行った。

- ・小坪海浜地駐車場：契約台数 47 台（令和4年3月31日現在）

6. その他

(1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局

① 一般募金実績額

募金別	実績額 (円)	件 数	備 考
戸別募金	2,760,777 (2,141,720)	9,056 (8,074)	
街頭募金	67,420 (6,1690)	8 (8)	街頭募金実績：8団体54名(延べ)が参加
法人募金	425,000 (469,000)	48 (57)	DM発送数(第一信1,750通、第二信528通)
学校募金	78,235 (118,574)	12 (14)	市内小学校・中学校・高校等
職域募金	196,077 (189,126)	49 (43)	一般職域及び公共施設合計58件
イベント募金	522 (8,035)	1 (2)	市内のイベント開催に集めた募金
その他の募金	28,818 (33,082)	6 (11)	
合計	3,556,849 (3,021,227)	9,180 (8,209)	

※ () 内は、令和2年度実績

② 年末たすけあい募金実績額

募金別	実績額 (円)	件 数	備 考
戸別募金	2,804,662 (2,197,581)	9,033 (8,028)	
街頭募金	55,750 (49,755)	9 (9)	街頭募金実績：9団体36名(延べ)が参加
法人募金	0 (0)	0 (0)	
学校募金	0 (0)	0 (0)	
職域募金	40,768 (41,721)	9 (7)	
イベント募金	0 (0)	0 (0)	
その他の募金	30,000 (4,6388)	1 (3)	
合計	2,931,180 (2,335,445)	9,052 (8,045)	

※ () 内は、令和2年度実績

③ 神奈川県共同募金会逗子市支会委員会

- ・第1回 令和3年5月25日 福社会館会議室にて
- ・第2回 コロナウイルス感染症の影響により書面決議

・第3回 令和4年3月24日 福社会館研修室にて

④ 第45回神奈川県福祉作文コンクール

・応募数 小学校4編 中学校6編

⑤ 共同募金配分

令和2年度赤い羽根共同募金、年末たすけあい募金で集められた募金を地域福祉活動の財源として、令和3年度は以下の事業に配分した。

事業名	金額
当事者等団体育成事業	359,000 円
ボランティア活動育成事業	679,000 円
情報提供事業	219,000 円
福祉功労者顕彰	122,000 円
地域活動計画事業	190,000 円
地域福祉共通事業	2,081,000 円
合 計	3,650,000 円

(総配分額 3,650,000 円)